

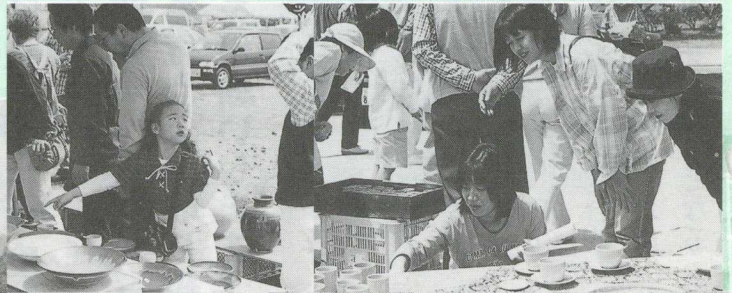
広報

あかいけ

5

いつもは静寂な上野の里も この日ばかりは大賑わい

春の「上野焼陶器まつり」が4月21～23日に開催され12000人の陶芸ファンが訪れました。



四百年の歴史を刻み受け継がれてきた
格調高い伝統の技と心
研ぎ澄まされた現代感覚との調和
それが「上野焼」の趣です

いつもは静寂な上野の里も、この日ばかりは大賑わい。春の「上野焼陶器まつり」が4月21～23日に開催され、12000人の陶芸ファンが訪れました。このまつりには、上野焼の歴史と伝統を伝えるだけでなく、現代の感覚を取り入れた作品も展示されています。上野焼は、400年の歴史を持つ伝統的な陶器で、その美しさと機能性が国内外で高く評価されています。このまつりでは、様々な種類の陶器が展示され、多くの人々がその美しさに魅了されています。上野焼の歴史は、長い間受け継がれてきた伝統的な技術と心遣いによって成り立っています。その歴史は、上野の里の静寂な雰囲気と調和しています。このまつりを通じて、多くの人々が上野焼の魅力を体験し、その歴史と伝統を学ぶことができます。

旋律

「夏も近づく八八夜」茶摘みの便りが届く季節です
▼その昔、織田信長は「茶の湯」を天下取りの重要な布石として位置づけました。信長が催す茶会に加わることは、その天下取りに参加することを意味し「茶の湯」は政治的色彩を色濃くしていったのです▼この頃「名物」茶器は一国に値しました。その「茶の湯」を「侘茶」として大成し「茶聖」と称された千利休。わたしたちの「上野焼」は、利休から奥義を学び、七哲のひとりとなされた豊前藩主細川忠興と朝鮮の陶工・尊楷との出会いによって生まれました。尊楷は上野喜蔵高国と名を改め、御用窯として格調高い作品を作りました。以来四百年近い歴史を刻み育まれた「上野焼」は、今もその趣を残しながら、二九の窯元で創作され、生き続けています▼国指定の伝統的工芸品「上野焼」は、わたしたちの財産であり、その技と心は、これからも受け継がれていくのです…

『第三次赤池町総合計画』を策定します

アンケートへのご協力をお願いします

赤池町はみなさまのおかげで、計画より二年間早く財政再建を終了し、平成十三年度から新たなスタートを切ります。活気あふれる元気いっぱいこの町として、また、魅力ある住みよい豊かな町として、二十一世紀に向けて飛躍していくために、新たなまちづくりの指針となる『第三次赤池町総合計画』を策定します。計画期間は、平成十三年度から二十二年度までの十年間の予定です。広く住民のみなさんの意見をうかがい、その意見をじゅうぶんに反映した計画づくりを行うよう取り組みます。積極的な参画とご協力をお願いします。

総合計画ってナニ？

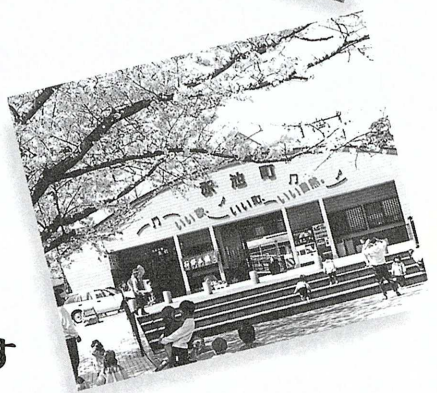
一人ひとりが自分の将来を思い浮かべ、自分なりの将来設計をたてるように、わたしたちの住む町・赤池町にも将来に向けての設計が必要です。

何かをしようとするとき、目的や方法などを決めた計画がなければ、うまく事は運びません。

そこで、将来に向けての大事なまちづくりを総合的かつ計画的にすすめるため、町の基本方針となる

ものが必要になります。これが「総合計画」と呼ばれるものです。

地方自治法や町の条例で策定が義務づけられ、町の様々な計画のなかでも、最も上位に位置づけられています。



総合計画の必要性は？

町が平成四年二月から赤字再建準用団体となり、国の指導を得て、みなさんのご理解とご協力をいただきながら、必要最小限の予算と事業で町政を行ってきたのはご周知のとおりです。

したがって、平成十二年度までの「第二次赤池町総合計画」では、十分な成果をあげる事ができませんでしたが、「第三次赤池町総合計画」の策定については、過去の再建計画に至った経緯を十分にふまえ、二十一世紀にふさわしい新たなまちづくりの実現に向け、取り組んでいく必要があります。しかし、依然として厳しい財政状況に変わりはありません。最少の予算で最大の効果を得るため計画財政を推進し、二度と赤字再建準用団体に陥らないためにも、将来性のあるしっかりとした計画が必要なのです。

総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つの柱で構成されます

赤池町総合計画

基本構想

本町の将来像及びこれを達成するために必要な施策の大綱を定めるもの。10カ年計画で、平成13年度を初年度とし平成22年度を目標年度とする。

基本計画

基本構想で示した施策の大綱にもとづき、施策を具体的に示すもの。平成13～17年度(第1期)と平成18～22年度(第2期)の各5カ年計画。

実施計画

基本計画にもとづいた具体的な事務事業を示すもの。3年後を目標とし、毎年度見直しを行う。毎年度の予算編成の指針となる計画。

アンケートにご協力を

住民の皆さんと行政である町が、一緒になって計画をつくるには、赤池町の現在の姿を調べ、分析し、さらにみなさんの希望をできるだけ多く知ることが大変重要です。

町では、総合計画に住民



のみなさんの意見をより多く取り入れるため「審議会」や「策定委員会」などの設置をはじめ、「住民意識調査」(住民アンケート)を行う予定です。

日頃みなさんが、町政全般について思われていることや要望などを、気軽にお聞かせください。

調査は無記名で、調査内容は目的外に使用することはありません。

総合計画をつくるためには、みなさんの参加が必要です。積極的な参画とご協力をお願いします。

問い合わせ先
役場 総務課 まちづくり係

TEL (28) 2004

内線 223

未来にはばたく子どもたちのために

『第三次赤池町総合計画』は

21世紀の確かな羅針盤として機能します



●総合計画策定委員会部会一覧

部会名	主な内容
基盤整備	行財政、土地利用、水資源、道路、交通、情報など
生活環境	住・自然環境、上下水道、防災、ゴミ、リサイクルなど
保健福祉	高齢者・障害者・母子福祉、医療、保健、介護など
産業振興	農業、商業、工業、林業、水産業、観光、労働など
教育文化	学校、生涯学習、人権、文化、コミュニティなど